

DIGITAL AUDIO WORKSTATION



mfx3.48



QDC
TECHNOLOGY

48-96
TRACK K H Z
READY

FairlightTM
DIGITAL AUDIO SOLUTIONS



New Generation Workstation

MFX3.48はフェアライトの次世代のデジタルオーディオワークステーションで、オーディオの録音と編集において、究極のスピードと使い易さを実現しています。制作作業の流れを管理するために必要なソフトウェアやサウンドライブラリー、記憶装置を統合する拡張性を備えた設計がなされています。MFX3.48はフェアライトが開発したQDCテクノロジーを採用しており、専用SHARCベースのDSPプラットフォームは、ハイレゾリューショングラフィクスとデュアルプロセッサコントロールも備えています。QDCテクノロジーは、価格帯を問わず、現在発売されているデジタル録音プラットフォームの中では最高の音質を提供します。将来的な96kHzへの拡張のために特に設計されているQDCは、拡張性がありアップグレード可能なプラットフォームとして、妥協のない作業環境を作り上げるための、将来性を証明する鍵となります。

MFX3.48は、デジタルオーディオを扱う上での必要に応じ、マルチタスクのリアルタイム・ディスクオペレーティングシステムを特長とするシステムアーキテクチャーを採用するなど、デジタルオーディオのために特化して設計されています。このマルチレイヤーやオブジェクトベースの編集環境をサポートするオペレーティングシステムは、独自の早さと使い易さにビデオマシンコントロールが加わり、更に柔軟性が高められています。

MFX3.48は48チャンネルまでのデジタルAES/EBU入出力を標準で持っています。また48チャンネルまでのアナログ入出力を備えることが可能です。MFX3.48のアナログのI/Oは最新技術を用いたA/D・D/Aコンバータを採用しており、その性能はデジタル録音の世界では比べるものはありません。

MFX3.48は16、20、24ビットオーディオをサポートしています。一つのプロジェクトに複数のビット長を混在させることも可能なので、ライブラリーに入っている既存の16ビット素材と新しく録音した20、24ビットの素材を同時に使用することも可能です。ディスクに録音するオーディオのストレージスペースは、全てのサンプルにおいてユーザーが音質とファイルサイズを選択することができ、そこで必要とされるビット数だけがそれに応じて割り当てられます。EQやタイムコンプレッションを含む全てのオーディオプロセッシングは、ビット長を問わずに扱うことができ、異なるタイプの間でのクロスフェードもスムーズに行います。

MFX3.48は、全てのソフトウェアコンポーネントを個々の機能のモジュールとして扱うことができるモジュラーソフトウェアライセンスとして備えています。MFX3.48はユーザーのニーズや予算に合わせてソフトウェアとハードウェアを必要に応じて組み合わせることができ、しかも後から更に機能を拡張することも可能となっています。

Ease of Use

MFX3.48のコントローラは、システムの使い易さを実現する重要な部分です。直感的なオペレーションやエディットコントロール、トランスポートファンクションが違和感なく操作できるように設計されており、高速な作業を可能とするためにマウス操作とプルダウンメニューを無くし、オペレーションのストレスや不満を解消しています。

ほとんどのファンクションは、ディスプレイを見たりカーソルを探したりしなくてもできるようになっています。実際のところ、システムはユーザー・フレンドリーなディスプレイを備えているにもかかわらず、多くのエンジニアは、一般的な機能の場合にはたいてい、ディスプレイを見る必要もなしに、タッチタイプによって操作しています。

MFX3.48の編集ソフトウェアは、独自のオブジェクトベース（クリップベース）の設計となっており、高速なオペレーションが可能で、パワフルで柔軟性

のあるものとなっています。フェアライト独自のマルチレイヤーの手法によって、編集での複雑さを解消、時間を節約し、シンプルな作業を実現します。

MFX3.48のパワフルな4バンドパラメトリックイコライザは、プロジェクト内の各クリップに対応させることが可能で、視覚的なEQスクリーンを使って設定することができます。EQ設定はA/Bのオーディションができるようになっており、1つあるいはそれ以上のクリップから、クリップ間でバンド選択をし、EQデータのみをコピーすることができます。

High Resolution Display

MFX3.48の高画質ディスプレイは48トラックまでのオーディオの録音とエディットのための情報を全て表示します。必要な情報を素早く、かつ整然と表示し、オペレーターが読み取りやすいディスプレイ設計となっています。フェアライトの新しい高画質グラフィックスエンジンは、ハードディスクと画像が同期して、全トラック同時にリアルタイムで波形表示をスクロールすることができるようになっています。これは作業に則したツールを作り、フィルム/ポストプロダクション、音楽録音におけるデジタルオーディオ・エディティングシステムのベンチマークとなるという、フェアライトの信念の一例です。

Connectivity

MFX3.48は、Digidesign Pro Toolsフォーマットのメディアとの間でインポート/エクスポートが可能で、さらにAkai、WaveFrame、Lightworks、そしてOMFファイルの読み込みも可能となっています。また、.WAVとBroadcast WAVファイルフォーマットでモノ/ステレオのオーディオをインポート/エクスポートすることができるので、他のデジタルオーディオシステムとのデータ転送を簡単に行うことができます。

MediaLink Networking

フェアライトのMediaLinkネットワークソリューションは、複数のスタジオがある環境においてワークステーションの接続を実現し、オーディオポストプロダクションや放送業界のために、統合されたシステムを提供します。MediaLinkはオーディオポストプロダクションや放送番組の制作、フィルムやテレビのポストプロダクション作業に最適な設計がなされており、様々な規模のスタジオで利用が可能で、オーディオ制作の作業効率を大幅にアップさせます。